

ちょっとできる自分へ～IT 企業ものづくりインターンシップ～(松阪電子計算センター)

・**受入企業** 株式会社松阪電子計算センター(情報通信)

・**テーマ** ソフトウェアの設計から開発まで、エンジニアとしての仕事の流れを体験しよう!!

POINT!

「ソフトウェアってどのように作られるの?」「システムエンジニアってどんなことをやるの?」といった悩みを一気に解決できるインターンシップ。プログラミング未経験者から経験者まで、それぞれのスキルに合わせたカリキュラムが用意され、ソフトウェアの設計から開発までを一通り体験できます。

感染リスク対策として、対面を最小限にし、それ以外はリモートで実施。実際に働く社員もテレワークと出社を織り交ぜた勤務形態をとっており、コロナ禍におけるエンジニアの実情に近い経験が可能です。

実施内容

<1日目> 来社し、オリエンテーションやプログラミング基礎の講義を受けます。

<2日目～4日目> 自宅でソフトウェア開発作業に取り組みます。午前中は開発に必要なプログラミング等の講義を受け、午後からは実際に開発作業に取り組みます。開発作業中は、チャットツールや Zoom を使用して、いつでも質問することができます。

<5日目> 再度来社し、成果の発表会を行います。実際に働くプログラマーやシステムエンジニアからレビューもしっかり受けられます。発表会の後は、若手社員との座談会。仕事について、就活についてなど何でも聞くことができます。

スケジュール

8月17日(月)～8月21日(金)の5日間(35 時間)

	AM	PM
8/17(月) 対面	・オリエンテーション	・プログラミングについて(座学) ・C#によるプログラミング体験
8/18(火) リモート	・プログラミング基礎(座学) ・C#によるプログラミング体験	・C#と API を用いたアプリ開発体験
8/19(水) リモート	・プログラミング講義(座学)	・C#と API を用いたアプリ開発
8/20(木) リモート	・プログラミング/設計 講義(座学)	・C#と API を用いたアプリ開発
8/21(金) 対面	・成果物発表資料作成	・成果物発表会/レビュー ・座談会

受入担当者コメント

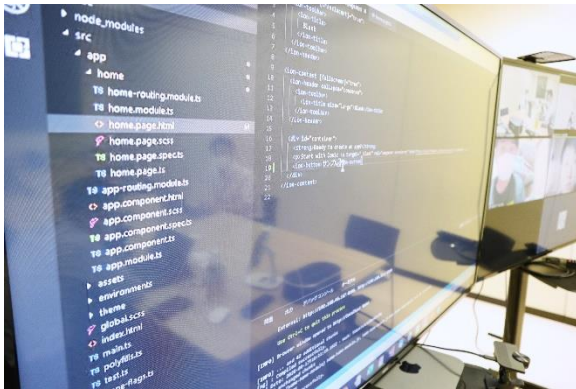
リモート型3日間と、対面型2日間のハイブリット式での開催となりました。通常であれば5日間全て来社いただくコースでしたので、「職場体験」としての役割を果たせるのかという不安がありました。しかし、現在社員自身もテレワークが多いため、ある意味リアルな職場体験をしていただけたと感じております。質疑応答や講義も Zoom やチャットツールを使用し、滞りなく実施出来ていました。リモート作業中は、来社時より個々のスケジュール管理が重要になってきます。その辺りも実務に近い体験をしていただけたのではないかと感じました。

■参加学生の声(工学部3年)

今回参加することで、情報系の技術職として働くという感覚を、大まかですが感じる事が出来ました。働くということはお金を払う側からお金を受け取る側になるため、それに見合う価値を発揮しないといけない。そのためには、利用者のニーズをしっかりと把握し、決められた時間で成果を出す=良いシステムを作ることが求められる、ということがよく分かりました。全体を通して仕事の面白さを実感することができ、IT 関係の職に就くという選択肢がより強いものとなりました。

また、担当の方から自分では気付くことができない問題点や欠点を教えてもらったり、他の参加者の長所や違いを発見したりすることで、自己理解が深まりました。

コロナの影響もあり、今回はリモートの部分と対面の部分がありましたが、やはり対面の方が会社の雰囲気を感じることができ、分からないことを質問しやすかったです。部分的ではありますが、コロナ禍でも対面で参加することができて、とてもいい経験になりました。



開発画面



成果物発表会の様子



開発作業風景(来社時)